

平成 30 年 5 月 14 日  
商 工 中 金

## 商工中金が新潟市及び新潟県中小企業団体中央会と連携し、 地元柿生産者が新設した新潟柿酢事業協同組合の六次産業化をサポート！

商工中金は、各地域の地方公共団体や関係機関等と連携しながら、「地域経済の活性化」や「地域雇用の創造」に貢献する中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（新潟支店）は、新潟柿酢事業協同組合（本社：新潟県新潟市、代表者：坂下志氏）に対し、新商品の柿酢の加工費や販売に必要となる資金 1 千 3 百万円を融資しました。本件は、商工中金と新潟県中小企業団体中央会（以下中央会）が行う「中央会推薦貸付制度」を活用しています。同制度は、組合及び組合員の事業を効果的に支援するため、中央会の推薦により金利を優遇するものです。

新潟柿酢事業協同組合は、規格外の未利用柿を使って柿酢を製造・販売していくために、地元新潟市西蒲区の柿生産者が中心となって、平成 30 年 1 月に設立された組合です。

今回、組合員と連携し、規格外の柿を有効利用するために新潟市産業振興財団（IPC 財団）の協力を得て、柿酢の試作品製造やマーケティングに取組み、「ぱしもんビネガー」を開発しました。

今後、同組合は、未利用柿を有効に活用するバリューチェーンを構築し、県内の他の産地との連携による増産や県外への販路を拡大していく計画です。

商工中金と中央会は同組合に対し、六次産業化に向けた事業計画と資金計画のアドバイスを行うとともに必要資金を融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

### 【新潟柿酢事業協同組合の概要】

所在地	新潟県新潟市西蒲区角田浜 3536	資本金	50 万円
代表者	坂下 志	組合員数	5 名（平成 30 年 1 月現在）
業種	未利用柿を利用した柿酢の共同販売	設立	平成 30 年 1 月